



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/akuwa/>



学校教育目標 「みんなかがやけ あくわっ子」

㊦いさつから輪を広げる子 ㊧ふうして学び続ける子 ㊨たしもあなたも命を大切にする子

新しい生活様式、そして、新しい学校生活様式

校長 菊地 信明

季節が変わり、緑が一段と濃くなってきました。ふと運動場に目を向けると、中央辺りが緑色になっていました。そばに行ってみると、そこには、植物が群生していました。3ヶ月、運動場で子どもたちが活動しないと、このような変化があることに驚きました。緊急事態宣言が解除され、ようやく学校が再開されました。登校してくる子どもたちを迎えるのは、本当に嬉しいことですし、運動場で元気に活動する子どもたちの姿を見るのを楽しみにしています。保護者の皆様におかれましては、この期間、子どもたちへの健康管理等への配慮や学校より配布されました学習課題の対応など多大なるご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。



例年ならば、チャレンジフェスタが終わったばかりで、新しい学年になり、一段階成長した姿を見ることができました。今年度は、今がスタートラインです。例年とは違う令和2年度になりますが、着実に子どもたちが成長できるよう全力で取り組んでいきます。保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症は、まだ、終息したわけではありません。この目に見えないウイルスから身を守るためには、新しい生活様式に慣れていかななくてはなりません。「三密」「ソーシャルディスタンス」「ステイホーム」「ウィズ コロナ」など新しい言葉をたくさん聞きましたが、その中でも特に「三密」は、学校生活を送る上で特に重要です。学校は、「密閉・密集・密接」が当たり前のような環境でした。インフルエンザが流行する時期は、一時的にこの場面を避ける環境にしていたのですが、これからは、それが日常になります。その上、体の接触や物のやり取りはしないなど、より一層厳しい制約が加わります。子どもたちは、人とのかかわり合いで社会性を身に付け、学び合いで学力を向上させていきます。しかし、今後、新しい学校生活様式の中で、子どもたちが今までと同じように成長していくために、どのような教育活動をしていけばよいのか大きな課題です。

長期休業明けから、学校生活のリズムに戻すことと、この新しい学校生活様式に慣れることを子どもたちの状態をよく見ながら進めていきます。多くの学校では、「三密」を避けるために、しばらく分散登校を行います。本校は、教室において「ソーシャルディスタンス」が確保できますので、通常登校としました。これからの季節は、熱中症も心配です。保護者の皆様には、引き続き、子どもたちの健康管理をしていただき、毎朝の検温と健康状態を健康観察票に記入の上、ご提出をよろしくお願いいたします。

休業期間が長かったので、行事日程や取組内容等を大きく変更しました。子どもたちにとって、充実した学習活動ができるよう考えていますが、今後の状況次第で、再び変更等があるかもしれません。新型コロナウイルス感染のリスクを最小限に抑えながら、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう取り組んでまいります。